

平成23年産そばの作付面積及び収穫量（東海）

－ そばの作付面積は、前年産に比べて7%増加 －

【調査結果の概要】

1 作付面積

東海3県（岐阜、愛知、三重）における作付面積は523haで、前年産に比べて35ha（7%）増加した。

これは、岐阜、愛知において農業者戸別所得補償制度の本格実施により作付けが増加したためである。

2 10a当たり収量

東海3県における10a当たり収量は26kgで、前年産に比べて38%下回った。

これは、台風による茎葉の損傷、倒伏、湿害が発生したためである。

3 収穫量

東海3県における収穫量は135tで、前年産に比べて69t（34%）減少した。

これは、作付面積は前年産より増加したものの、10a当たり収量が下回ったためである。

表 平成23年産そばの作付面積、10a当たり収量及び収穫量（東海3県）

区分	作付面積			10a当たり 収量	収穫量	前年産との対比				
	計	田	畑			作付面積			10a 当たり 収量	収穫量
						計	田	畑		
	ha	ha	ha	kg	t	%	%	%	%	%
全 国	56,400	37,700	18,700	57	32,000	118	114	128	92	108
東 海 3 県	523	458	65	26	135	107	104	133	62	66
岐 阜	299	256	43	28	84	112	107	159	97	109
愛 知	46	37	9	13	6	128	116	225	59	75
三 重	178	165	13	25	45	96	98	72	39	38

本調査結果は、以下のアドレスからご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/tokai/tokei/sokuhou/> 】

本統計における調査の目的、調査の対象などは【調査の概要】3ページに掲載しています。

【関連するデータ、情報】

◎ 調査結果の利活用

- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び目標達成に向けた生産指導・達成状況検証のための資料
- ・ 「畑作物共済事業」における共済基準収穫量算定及び農業共済組合連合会当初評価高の審査・認定のための資料
- ・ 「強い農業づくり交付金」におけるそばに関する生産振興を図るための各種事業の資料

◎ 累年データ

そばの累年統計表（東海3県）

区 分	作 付 面 積			10 当 年 収 量	a り 量	収 穫 量
	計	田	畑			
	ha	ha	ha	kg	t	
平成13年産	175	148	27	…	…	
14	221	177	44	…	…	
15	289	234	55	…	…	
16	308	257	51	…	…	
17	283	235	48	…	…	
18	313	268	45	…	…	
19	335	292	43	…	…	
20	360	311	49	…	…	
21	375	315	60	…	…	
22	488	439	49	42	204	
23（概数）	523	458	65	26	135	

資料：農林水産省統計部『作物統計』

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、特定作物統計調査の面積調査及び作況調査として実施したものであり、そばの生産に関する実態を明らかにし、「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び目標達成に向けた生産指導・達成状況検証のための資料、「畑作物共済事業」における共済基準収穫量算定及び農業共済組合連合会当初評価高の審査・認定のための資料、「強い農業づくり交付金」におけるそばに関する生産振興を図るための各種事業の資料等とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

ア 作付面積調査

全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

イ 収穫量調査

全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

(2) 調査対象の選定

ア 作付面積調査

調査対象作物の集荷を行っている全ての農協等の関係団体とした。(全数調査)

イ 収穫量調査

(ア) 関係団体調査

調査対象作物の集荷を行っている全ての農協等の関係団体とした。(全数調査)

(イ) 標本経営体調査

2010年世界農林業センサスにおいて、調査対象作物を販売目的で作付けした農林業経営体から無作為に抽出(母集団名簿を作付面積順に並べ替えを行い、設定した面積規模別の標本数に応じて等間隔に抽出する方法(系統抽出法)により抽出)した。(標本調査)

3 調査事項

(1) 作付面積調査

田畑別作付面積

(2) 収穫量調査

10 a 当たり収量及び収穫量

4 調査期日

収穫期

5 調査方法

(1) 作付面積調査

関係団体に対する往復郵送調査、職員による巡回・見積り及び情報収集による。

(2) 収穫量調査

関係団体及び標本経営体に対する往復郵送調査、職員による巡回・情報収集による。

6 集計方法

(1) 作付面積調査

作付面積は、関係団体調査結果を基に、巡回・見積り結果及び情報収集結果により補完し算出している。

(2) 収穫量調査

収穫量は、調査対象作物の団体取扱数量(団体把握シェア)(おおむね80%を基準としている。)に応じて、関係団体調査結果又は標本経営体調査結果により算出した10 a 当たり収量を、必要に応じて巡回・情報収集結果により補完して10 a 当たり収量を決定し、作付面積に乗じて算出している。

なお、全国値については、各都道府県の結果を積み上げ集計している。

7 目標精度

(1) 作付面積調査

本調査は、関係団体に対する全数調査であり、目標精度は設定していない。

(2) 収穫量調査

本調査は、全数調査である関係団体調査結果、標本経営体調査結果を基に統計値を算出していることから、目標精度は設定していない。

8 その他

この資料の数値は概数値である。確定した詳細な数値は『耕地及び作付面積統計』、『作物統計』及び『第58次東海農林水産統計年報』に掲載する。

9 利用上の注意

- (1) 表中の数値は、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数 (下から)		2 桁	1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前 (原数)	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	12,300	1,230	123

- (2) 表中に用いた記号「…」は、事実不詳又は調査を欠くもの。

【ホームページ掲載案内】

- この統計調査結果は、東海農政局ホームページ中の「統計情報」でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/tokai/> 】

- 全国の調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「いも・雑穀・豆」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞基本政策【 <http://www.maff.go.jp/j/kanbo/> 】

問 合 せ 先

◎本統計調査結果について
連絡先：東海農政局 統計部
生産流通消費統計課
電 話：052-763-4732

◎農林水産統計全般について
連絡先：東海農政局 統計部
統計企画課
電 話：052-763-4730